平成25年11月12日

6年生保護者の皆様

江南市立藤里小学校長
大 藪 國 義

平成25年度全国学力・学習状況調査の結果について

向寒の候、保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、4月に実施しました全国学力・学習状況調査の個人結果につきましては、9月に配付させていただきました。その後、学校としての結果の分析を行いましたので、その状況を下記の通りご報告させていただきます。今回の報告につきましては、国語、算数については比較的身につけている内容と今後力をつけていかなければならない課題となることについて、特に特徴的なことをあげさせていただきました。一方、学力形成には生活習慣、学習習慣が大きく関係しています。従いまして生活面での状況もあわせてご報告します。望ましい生活習慣・学習習慣は何よりもご家庭の協力が必要です。よろしくご支援くださいますようお願い申し上げます。

記

1 生活に関する調査結果（児童質問紙調査結果より）

起床時刻はほぼ決まっていると回答した子がほとんどでしたが、就寝時刻にはばらつきがあり、特に「決まっていない」とする児童が1割以上いるのが気になります。平日の勉強時間は1時間以上と未満で半数ずつでしたが、4割近くの児童が学休みの日にも2時間前後勉強しているということが分かりました。将来の夢や目標をもっている児童は7割以上、なりたい職業があるという児童は8割以上でした。土曜日の午前は家族と過ごすという割合が全国に比べて倍であり、今後も触れ合う時間を大切にしたいと思っております。

2 教科に関する調査結果

(1) 国語

基本問題全般にわたって全国の正答率を下回りました。特に、読む問題の正答率は全国との差が大きいことが分かりました。日々の授業を充実させつつ、ご家庭の協力も得ながら、基本的な力をしっかりと身に付けさせていきたいと思っております。

(2) 算数

基本問題は全国の正答率に最も近い結果となりました。特に、図形や数と計算などの問題で、全国や県を上回っているものもありました。一方、文をよく読んで答える問題や記述式の問題を苦手としていることも分かってきました。少人数指導によるきめ細やかな指導を継続し、基礎基本をしっかりとおさえながら、活用の力を伸ばしていきたいと思っております。